Iroha-biki
Moncho

夫れ紋といふもの上代のいにしへのことはなしかゝるが中に
もろこしにてもいまだ満世は無
ころまで紋てふものなし
我が国にては時の帝より授ふ
その紋賜はりしより家々目
印と紋相定めたり其の紋なる
いろ\/ともなりまた伊達
紋なるものありきいつ種々一芸
長けこるゝ世の中なべて花
著風をとむのみしより
雑紋を種々くはめつくかき
この大きかる其後元禄
をそれば頃おひ段なる丹染風にて
羽織衣裳に異なる紋をこの
きそりし伐りあへ紋伊達
紋よまうそ鳥え来りしなり
さきども定紋なりこるだて
紋なれどもひろとんのし
形紋まきしく　せんたいは志
のりとこうひ出来の事のまへん
ひとつまての事とある紋つかひ
めてそそを擇まれるもあれね
明治十あまりよつのとし
むつ月のそしじめ
山下すぬ誌しるす

伊呂波引紋帳

凡例

一 此紋帳ハ本紋替紋とも古来名目正しきものを集めて清ふ名もある紀異変の紋を載せずといへども狂紋伊達紋乃雅なるものハすこし先を撰む

一 紋の類何十種ありとも皆その本紋の部に集むたとへバ丸ぐるま、車、わらみ、輪ちがひ、結びかゞらふとも新の紋が出るとバらがて此内にありと知るべし其余の抱き向ひ三盤ちがひ亦しの類皆附るといふものなれバ其に拘ことだ本紋の部にてしるべし

一 類によつて余の紋と立るありたとへバ三ッ目四ッ目などハ㊃㋑の部に入出しあれども其

揔同じ類なるを以てよつめの内に入るゝ式所一ツ引二ツ引三ツ引の類ハひきもの丶類として以に入れ宝珠ハたまの部地紙ハあふぎの部にのせる乃類り餘ハ推て知るべし

一 紋名の上に合印を附るもハ三ツ割六ツ割十二割の合印くハ二ツ四ツ八ツ十六割の印く ハ五ツと十ヲとの割 ハ七ツと十四との割 ハ九と十八割の印之割方ハ何きも後に委くあるに

一 篆字角字ハ諸の紋帖に我る所誤り字多しなれ今是を訂正し草真篆隷角字をいろは寄にしく寄る急務に使りた

一 地紋及紋所の割方ハ種々あるといつとも鈍中便利の方を撰して大小相應の全紙をうつしむ

いろは引紋帳目録

(い)

(は)

(ほ)

升々類　七十二丁
松々類　同丁
卍々類　七十三丁

㊂

藤々類　同丁
分銅　七十五丁
[illegible]　同丁
浮線綾　七十六丁

㋙

琴柱　同丁
五徳　同丁

㋢

鉄線々類　七十七丁
蝶々類　同丁

㋐

葵　七十九丁
麻々葉　八十一丁
扇々類　同丁

㋚

桜々類　八十五丁

き

笹之類　八十六丁

菊之類　八十八丁

桐之類　九十一丁

桔梗之類　九十二丁

龜甲　九十五丁

行用　九十六丁

め

茗荷　九十七丁

し

棕櫚　九十八丁

蛇之目　同丁

十文字　同丁

十二之支干　同丁

ゑ

海老　九十九丁

烏帽子　百丁

ひ

柊　同丁

菱之類　同丁

目録終

ロ 角立井筒
ロ 平井筒
ロ 井桁
イ 井筒亀甲
イ 角井筒
ロ 丸ニ井桁

(イ) 井筒
(ロ) 陰井桁
(ロ) 遠井筒
(イ) 三つ井桁
(ロ) 角立細井筒
(イ) 庚井筒

伊呂波一枚張

ロ 井四ツ目
ロ 結井
ロ 角立稲妻
ロ 稲妻
ロ 稲妻菱
ロ 四ツ稲妻

イ 稲妻亀甲
イ 三ツ稲妻
イ 碇酸漿
ロ 四ツ碇
ロ 大繕碇
ロ 綱碇
伊呂波 紋帳 イ
三

ロ 立碇
ロ 丸ニ一ツ碇
イ 三ツ文蛤
ロ 四ツ文蛤
ハ 五ツ文蛤
ロ 向文蛤

ロ 丸ニ文蛤

ロ 文蛤

イ 三ツ銀杏

イ 三ツ抽銀杏

イ 反抽銀杏

ロ 銀杏菱

イ 三ツ割銀杏
イ 蛇ノ目銀杏
イ 六角銀杏
ハ 五ツ銀杏
ロ 四ツ銀杏
ロ 四ツ割銀杏

イ 組合抽銀杏
ロ 一ツ銀杏の丸
ロ 割銀杏
ロ 銀杏鶴の丸
ロ 向銀杏
ロ 違銀杏

ロ 十文字銀杏
ロ 抱銀杏
イ 銀杏毬挟
ロ 抜銀杏
ロ 筋違銀杏
ロ 二ツ蔓銀杏

イ 銀杏浮線綾
ロ 八重銀杏
イ 三ツ割蔓銀杏
散銀杏
ロ 銀杏飛鶴
イ 返り三ツ銀杏

イ 三ツ蔓根杏
ロ 根杏浮線蝶
ロ 九ニ五ツ石疊
ロ 九ニ三ツ石疊
ロ 四ツ石疊
ロ 五ツ石疊

ロ
角立四ツ石畳
イ
三ツ寄石畳
ロ
三ツ石
ロ
四ツ組石
イ
三ツ割石畳
ロ
九ツ石畳

口 角立九ツ石畳
口 石畳車
口 向来稲
口 稲之丸
稲穂
口 稲巴

ロ
稲分胴
ロ
違束稲
ロ
ふせん花菱
ロ
ふせん角花菱
ロ
蔓花菱
ロ
花菱

ロ
重花菱
ロ
丸ニ剣花菱
ロ
丸ニ花菱
ロ
剣花菱
イ
丸ニ三ツ割花菱
イ
三ツ花菱

イ 亀甲花菱
ロ 四ツ寄花菱
ロ 四方花菱
ロ 鬼花菱
イ 三ツ割花菱
イ 三ツ細割花菱

ロ 花菱浮泉綾
ロ 唐花菱
ロ 利休花菱
イ 花巴
ロ 蔓四方花菱
イ 行用花菱

ロ
割花菱
ロ
四ツ割寄花菱
ロ
入違唐花菱
ロ
四ツ割む菱
ロイ
鞠挟花菱
ロ
四ツ目花形

ロ 四ツ花菱
ロ 丸ニ羽根
イ 三ツ羽根丸
ロ 四ツ羽根丸
イ 三ツ割羽根
ハ 五ツ羽根丸

イ 丸ニ三ツ羽根
イ 三ツ蛤
ロ 向ひ蛤
ハ 五ツ蛤
ロ 丸ニ一ツ蛤
イ 丸ニ三ツ蛤

ロ 四ッ蛤
イ 芭蕉三ッ巴
ロ 廻り芭蕉
ロ 芭蕉巴
ロ 折芭蕉丸
ロ 抱芭蕉

ロ
二ツ巴芭蕉
イ
三ツ星
ロ
崩三ツ星
ロ
陰陽九曜
ロ
朧九曜
ロ
細川九曜

イ
こくもち三ツ星
イ
渡辺星
イ
三ツ星一ツ引
ロ
九曜
ロ
九曜菱
ロ
割九曜

ロ
丸ニ九曜
イ
八ツ星
ロ
丸ニ五ツ星
ロ
丸ニ四ツ星
イ
長門星
イ
陰陽七ツ星

イ
丸三ツ星
イ
剣三ツ星
ロ
七ツ星
イ
真向牡丹
ロ
大割牡丹
ロ
葉敷牡丹

イ 三ツ牡丹
ロ 蟹牡丹
ハ 五ツ車牡丹
ハ 草之牡丹
イ 葉之祇園牡丹
ロ 薔薇牡丹

ロ 牡丹
ロ 枝付牡丹
折枝牡丹
ロ 丸に乱牡丹
イ 鬼牡丹

ロ 近衛牡丹
ロ 牡丹の丸
ロ 鹿島牡丹
ハ 捻牡丹
ハ 裏牡丹
イ 三ツ反牡丹

(イ) 扶用牡丹(ふようぼたん)
(ロ) 抱帆之丸(だきほのまる)
(イ) 三ツ帆巴(みつほどもへ)
(ロ) 二ツ帆巴(ふたつほどもへ)
(イ) 三ツ帆車(みつほぐるま)
遠見帆(とをみほ)

ロ 向帆
ハ 八ツ帆
イ 六ツ帆
ロ 四ツ帆
ロ ふくらみ一ツ帆
ロ 丸ニ帆

一ツ帆ノ丸
鳳凰ノ丸
ふいのし
丸ニ並瓶子
一ツ瓶子
角入角瓶子

イ 三ツ瓶子丸
ロ 角切角瓶子
ロ 丸ニ瓶子
イ 右三ツ巴
ロ 右一ツ巴
ロ 左一ツ巴

(イ) 巴七ツ星
(イ) ミツ盛一ツ巴
(イ) 三ツ金輪巴
(ロ) 二ツ金輪巴
(ロ) 向巴
(ロ) 巴九曜

ロ 右一ツ巴
ロ 組合二ツ巴
イ 子持巴
イ 離巴
イ 三ツ組巴
イ 巴菱

イ 丸に三ツ巴
ロ 丸に二ツ巴
ロ 三ツ巴九曜
ロ 違ひ巴
ロ 右二ツ巴
ロ 左二ツ巴

伊呂波一枚版

ロ 右二ッ丁子巴
ロ 左二ッ丁子巴
イ 亀甲丁子
ロ 丁子菱
ロ 向丁子
ロ 剣四ッ丁子

ハ 五ツ丁子車（てうじぐるま）
ホ 九ツ丁子車（てうじぐるま）
イ 六ツ丁子車（てうじぐるま）
イ 三ツ尻合丁子（しりあはせてうじ）
ロ 違丁子（ちがいてうじ）
ロ 三ツ丁子（てうじ）

ロ
丸ニ違丁子
ハ
五ッ丁子
ロ
八ッ丁子車
ロ
角丁子
ロ
井筒丁子
イ
三ッ巴丁子

ロ 大割遠丁子
ロ 入遠丁子
ロ 丸に三ツ丁子
イ 三ツ遠丁子
イ 六ツ抽丁子車
イ 丸に六ツ丁子車
伊呂波引紋帳
二十一

ロ 丸に一ツ丁子
ロ 割茶之実
イ 三ツ割茶之実
イ 茶の実三ツ巴
ロ 茶之実輪違
ロ 違茶の実

イ 三ツ茶ノ実
ロ 菱茶ノ実
イ 丸ニ三ツ茶実
ロ 丸ニ一ツ茶実
イ 鱗茶ノ実
ロ 茶ノ実

呂波引紋帖
二十二
(イ) 向茶ノ実
(イ) 陰茶実車
(ロ) 茶ノ実丸
(イ) 茶実亀甲
(ロ) 折茂茶実
(ロ)

ロ らくわちゆうもん
ロ 丸(まる)にちゆうもん
イ 三ツちゆうもん丸(まる)
ロ 割(わり)ちゆうもん
ロ ちゆうもん菱(びし)
イ 三ツちゆうもん

ロ ちやうもん
イ 三ツちやうもん 割
イ 三ツちやうもん 鐶
イ 枝雛巴
イ 三ツ割枝雛
ロ 折込枝雛

(ロ)丸ニ技雑
(ロ)技雑
(ロ)乾技雑
(ロ)捻技雑
(ロ)結技雑
(ロ)方切角技雑

ロ 左右鞨鼓(りうご)
ロ 蝶まうど
イ 丸に三ッ鞨鼓
ロ 四ッ寄鞨鼓
ロ 丸にりうご
ロ 三ッ並鞨鼓(ならびりうご)

ロ 鞢皷
ロ 三宅輪棒
ロ 菊輪棒
イ 髭々輪棒
ロ 剱輪棒
ハ 重花りん棒

ロ 輪宝
イ 八ツ輪宝
イ 三ツ割輪宝
ロ 龍之丸
ロ 龍之尾巴
ロ 雨龍之丸
紋帳
り

ロ 角雨龍（かくあまりやう）
ロ 方立角雨龍（すくたてかくあまりやう）
ロ 雨龍木瓜（あまりやうもくかう）
イ 龍の爪（りやうのつめ）
ロ 龍の鱗（りやうのうろこ）
ロ 違龍の角（ちがひりやうのつの）

(イ)植村龍膽
(ロ)笹龍膽
(ロ)割龍膽
(ハ)龍膽車
(ロ)蔓笹龍膽
(イ)三ツ龍膽車

ロ 龍膽梅違
ロ 三ツ龍どう
ロ 八ツりんどう車
イ 行用龍膽
ロ 龍膽菱
イ 行用沢瀉

ロ 立沢瀉
ロ 丸ニ立沢瀉
ロ くそちニ立沢瀉
イ 丸ニ抱沢瀉
イ 三ツ葉沢瀉巴
ロ 丸ニ抱沢瀉

イ 三ツ葉沢瀉
イ 追掛沢瀉
ロ 水ニ立沢瀉
ロ 丸ニ入違沢瀉
イ 向沢瀉
イ 組合沢瀉

イ
三ッ澤瀉の丸
ロ
三ッ並沢瀉
ロ
澤瀉桐
イ
長門沢瀉
ロ
三ッ澤瀉
ハ
五ッ沢瀉

イ 三盛沢瀉
ロ 大関沢瀉
ロ 三本沢瀉
イ 三ツ反沢瀉
ロ 沢瀉輪違
ハ 沢瀉桔梗

イ
澤瀉巴
中輪
細輪
糸輪
中太輪
太輪

太陰輪
子持輪
二重輪

雪輪
唐草輪
そう輪
むすび輪
陰輪
岩木輪

二重輪
ロ 輪違
ロ 花輪違
ロ 七宝輪違
ロ 三ツ花輪違
イ 三ツ割輪違

ロ
四つ花輪違
ロ
菱輪違
ハ
五つ輪違
ワ

イ 丸三ッ輪違
ロ 輪違崩
イ 組二ッ輪違
ロ 浮線輪違
ロ 蕨車
ロ 抱蕨

イ
丸ニ六ツ蕨車
ロ
違蕨
イ
蔓蕨
ロ
丸ニ蝶蕨
イ
三ツ金輪違
ロ
四ツ金輪

ハ
五ツ金輪
イ
六ツ金輪
ニ
七ツ金輪
ロ
八ツ金輪
ホ
九ツ金輪
ロ
二重金輪

ロ 丸ニ違ヒ金輪
ロ 違ヒ金輪
ロ 丸ニ割金輪
ロ 丸ニ花杜若
ロ 違杜若
ロ 抱杜若

イ
三つ花杜若
ロ
杜若菱
イ
丸ニ三つ杜若
イ
六つ唐花
ハ
剣唐花
ハ
唐花

ハ
蔓唐花
イ
三ツ盛唐花
ハ
重唐花
イ
三ツ割梶の葉
ロ
平戸梶
ロ
抱梶の葉

(イ) 三ツ梶の葉
(ハ) 梶の葉車
(ロ) 梶の花
(イ) 三ツ寄梶の葉
(ロ) 菱梶の葉
(イ) 追掛梶の葉

ロ 梶の葉
ロ 鬼梶の葉
ロ 違梶
ロ 丸に一ツ梶
イ 三ツ割梶
ロ 諏訪梶の葉

ロ 刻梶の葉
ロ 園部額
イ 酢漿
イ 剣酢漿
イ 中輪の内に剣酢漿
イ 丸に酢漿

イ 環酸漿
イ 光琳酸漿
イ こくもち酸漿
イ 太陰酸漿
イ 三ツ割酸漿
イ 組合酸漿

イ 三ッ割羽酢漿
イ 蔓向酢漿
ロ 四ッ酢漿
イ 柏酢漿
ロ 大の字酢漿
ロ 酢漿の実

(イ) 陰酸漿
(イ) 陰輪酸漿
(ロ) 酸漿菱
(イ) こくもち 細酸漿
(イ) こくもち 茎の酸漿
(ロ) 二ツ割酸漿

イ 三ツ柏
イ 追掛柏
ロ 四ツ蔓柏
イ 三ツ柏丸
ロ 抱き柏
ロ 抱き鬼柏

イ
中陰結柏
イ
結柏
ロ
丸ニ一ツ柏
イ
糸輪土佐柏
イ
糸陰結柏
ロ
繰巻蔓柏

伊呂波引紋帳
三十九
(イ) 違柏
(イ) 替抱柏
(イ) 抱柏巴
(イ) 柏巴
(イ) 三ツ蔓柏
(ロ) 輪違柏

イ 三ツ割蔓柏
ロ 蔓柏
ロ 三ツ抱柏
イ 丸に鋏三ツ柏
イ 蔓繁三ツ柏
ハ 五ツ柏

イ 蕨蔓柏
ハ 廻柏
イ 釜三ツ柏
イ 丸ニ掛り合柏
イ 中輪ニ土佐柏
イ 土佐柏

土佐柏車
中川柏
上向亀之丸
向亀之丸
亀之丸
違亀之丸

イ
三ツ亀之丸
ロ
子持亀之丸
ロ
筋甲
ロ
星甲
ロ
飾甲
ロ
桃形甲

ロ
向龍頭甲
ロ
逆甲
一雁
ハ
五ツ雁
ロ
雁菱
ロ
丸ニ雁金

イ
丸ニ三ツ雁
イ
結三ツ雁
二ツ雁
ロ
雁
ロ
結雁
イ
結雁亀甲

ハ
五ツ繋厂金
ロ
大膳厂金
ロ
向角厂金
ロ
丸ニ結厂金
ロ
結向雁
三ツ飛雁

(イ)
三ツ丁金
(ロ)
向雁
(ロ)
八角
(ロ)
八重角
(ロ)
陰角立角
(ロ)
糸角立角

子持角立角
角立角

㋺平角
㋺的角
㋺外反角
㋺角指
㋺寄角
㋺折入角

ロ 溜角筭木
ロ 角切角三ノ字
イ 三ツ笠ノ丸
イ 三本違傘
イ 三ツ開傘
ロ 丸ニ笠

イ 薗部傘
ロ 二階笠
ロ 違鎌
ロ 四ツ角鎌
イ 鎌車
ロ 丸三ツ鎌

ロ
卍字鎌
一ツ鎌
ロ
二重釜敷
ロ
八ツ釜補
ハ
五ツ釜敷
イ
六ツ釜敷

ホ 七ツ釜鋪
イ 細輪釜敷
イ 釜敷
ロ 平四ツ目
ロ 陰四ツ目
ロ 四ツ目車

ロ
掛組合四ツ目
ロ
繋四ツ目
ロ
四ツ目九曜
ロ
反四ツ目
イ
四ツ目
ロ
丸ニ平四ツ目

ロ
三ツ目
ロ
浮線四ツ目
ロ
丸ニ割四ツ目
ロ
七ツ割方四ツ目
ロ
重四ツ目
ロ
四ツ目崩

ロ 丸に結四ツ目
ロ 四ツ目菱
ロ 蔓四ツ目
ロ 五ツ目
イ 三ツ寄四ツ目菱
ロ 丸に四ツ目菱

ロ 四ツ目車
ロ 捻四ツ目菱
ロ 角立四ツ目
ロ 鷹羽輪違
ロ 三ツ並鷹羽
ロ 折鷹羽丸

ロ 抱鷹羽
イ 鷹羽巴
イ 鷹羽破車
ロ 丸ニ鷹羽
ロ 入違鷹羽
ロ 鷹羽車

ロ 右違鷹羽
ロ 左違鷹羽
ロ 丸ニ違鷹羽
ロ こくもち違鷹羽
ロ 並鷹羽
イ 三ツ違鷹羽

ロ こくもちに鷹羽車
ロ 丸に並鷹羽
ロ二 全九鷹羽車
ロ 割鷹羽井筒
ロ 割鷹の羽
イ 鷹羽蛇目

ハ
五ツ鷹の羽
イ
こくもち
三ツ鷹羽
ロ
鷹の羽井筒
ロ
割大根
ロ
違大根
ロ
こくもち宝結

伊呂波引紋帳
結
五十一
ロ 寶結
イ 宝結亀甲
ロ 撫寶結
ロ 糸輪に宝結
ロ 細輪撫宝結
ロ 行用立花

ロ 橘
ロ 割立花
イ 三ツ立花
ロ 抱橘
イ 三ツ追懸橘
イ 三ツ橘車

イ 尻合三ツ立花
橘
イ 三ツ組合橘
イ 頭合橘亀甲
イ 尻合橘亀甲
ロ 四ツ橘車

イ 向橘
イ 八重向橘
ロ 橘菱
ロ 丸に橘
ロ こくもちに橘
イ 三ツ盛橘

ロ
違橘
ロ
宝珠
ロ
丸ニ玉
イ
丸ニ三ツ玉
ハ
五ツ玉
イ
外向ひ三ツ割蔦

ロ
蔦
ロ
中陰蔦
イ
三ツ蔦
尻合
ロ
鬼蔦
ロ
中陰鬼蔦
イ
三ツ鬼蔦

伊呂波引紋帳
ツ
ロ 丸に蔦
イ 三ツ盛蔦
ロ 一ツ蔓蔦
ロ らくわち蔦
ロ 利休鬼蔦
ハ 廻り蔦

イ
金輪蔦
ロ
向ひ蔦
ロ
太割蔦
ロ
光淋蔦
ハ
蔦ゝ花
イ
三ツ割蔦

ロ
蔦菱
ロ
抱角丸
ロ
星抱角
ロ
さくぞち抱角
ロ
丸ニ違角
ロ
抱細角

ロ 抱角
ロ 糸輪ニ槌
ロ 丸ニ槌
ロ こくもち槌
ロ 打出ノ小槌
イ 五ツ槌

(ロ) 八ツ槌車
(イ) 三ツ槌
(イ) 三ツ横槌
(ロ) 違鼓の胴
(イ) 三ツ繋鼓の胴
(ロ) 三ツ並鼓の胴

イ
鼓
イ
紐付鼓
ロ
並鼓の胴
ロ
真の鶴の丸
ロ
向鶴の丸
ロ
舞鶴の丸

ロ
草之四ツ鶴角
長之字鶴
ロ
南部鶴の丸
ロ
ロ
坂東鶴
イ
亀甲鶴

折鶴
イ
草に三ツ鶴
ロ
草鶴丸
ロ
光琳鶴之丸
イ
三ツ折鶴
ロ
草之鶴菱

ロ
二羽鶴
飛鶴
イ
餌食鶴
イ
亀甲南天
ロ
向南天
イ
三ツ割南天
ツナ

枝南天
イ 撫子
ハ 丸に撫子
ハ 三ツ割撫子
ハ らくめち撫子
イ ろくぞち撫子

イ
三ツ盛撫子
ハ
浮線綾撫子
ロ
唐梨切口
ロ
丸ニ切口
イ
三ツ切口菱
イ
梨ノ花

ロ
切口
ロ
丸ニ唐梨
ロ
丸ニ向波
ロ
波ニ兎ノ丸
イ
波三ツ巴
ロ
波一ツ巴

ロ
波之丸
ロ
向波之丸
ロ
イ
ロ
ロ

ハ 向梅
ハ 向八重梅
ハ 一重梅
ハ 八重梅
イ 三ツ割梅
イ 三ツ盛梅

イ
三ツ半開梅
ロ
半開梅
ハ
裏捻梅
ハ
日向光淋梅
ハ
入向梅
箙梅達紋

伊呂波引紋帳
八 周防梅
八 匂梅
八 裏梅
ロ 箙梅

(イ) 三つ梅車（むめぐるま）
(ハ) 八重裏梅（やゑうらむめ）
(ハ) 梅（むめ）
(ハ) 梅鉢（むめばち）
(ハ) 加賀梅鉢（かゞむめばち）
(ハ) 梅くのわて鉢（むめ…ばち）

八
裏梅鉢
八
陰陽梅鉢
イ
丸ニ三ツ割梅鉢
八
剣梅鉢
八
丸ニ梅鉢

ロ 違団扇
イ 三ツ反柄団扇
ロ 丸ニ団扇
ロ 絵団扇
ロ 唐団扇一ツ葵
ロ 桑名団扇

ロ 中津団扇
イ 三ツ割団扇
ハ 団扇巴
ロ 割唐団扇
イ 三ツ割唐団扇
ロ 並唐団扇

ロ 柏団扇（かしはうちわ）
ロ 紅葉団扇（もみぢうちわ）
ロ 笹ノ葉団扇（さゝのはうちわ）
ロ 梶ノ葉団扇（かぢのはうちわ）
イ 三ツ違団扇（ちがひうちわ）
ロ 一ツ団扇（うちわ）

ロ 唐團扇
イ 三ッ唐團扇
ロ 羽團扇
ロ 八ッ鱗
イ 三ッ折込鱗
ハ 五ッ鱗

(イ) 三ツ鱗
(ロ) 北條鱗
(ロ) 九ツ鱗
(イ) 三ツ鱗
(イ) 丸ニ三ツ鱗
(ロ) 熨菱
ウノ

口 熨斗の丸
口 向ひ熨斗
口 束ね熨斗
口 違ひ熨斗
口 熨斗扇輪
イ 二の下車

ロ
丸ニ車寄木
ロ
中川車
ロ
源氏車
ロ
高田車
イ
三ツ割車
ハ
丸

ハ
瓜
ハ
瓜陰
ハ
丸に瓜
ハ
こくもちに瓜
イ
三ツ割瓜
ハ
捻瓜

ハ 瓜崩
ハ 瓜の内に揚羽の蝶
ロ 釘抜
ハ 瓜之内に違鷹の羽
ロ 抱釘抜
ロ 違釘抜

伊呂波引紋帖
ロ
四ツ割釘抜
ロ
釘抜一ツ引
ロ
折釘抜
ロ
丸ニ重釘抜
イ
三ツ繋轡

ロ 轡
ロ 古轡
ロ 轡菱
ロ 角轡
ロ 重轡
イ 三ッ轡ノ丸

口 結轡
口 内田轡
口 丸ニ轡
口 入違矢筈
口 一ツ矢
口 割違矢

イ 違矢尻
ロ 扇矢
イ 三ツ厂俣
イ 三ツ矢
ロ 三ツ並矢
ロ 並矢

ロ
さいき矢筈
ロ
矢車
ロ
丸に一ツ矢
ロ
丸に違矢
ロ
違上差
イ
三ツ違矢

(ロ) 矢筈(やはず)
(イ) 三ツ矢(や)
(ロ) 二ツ矢筈(やはず)
(ロ) 山形(やまがた)
違山形(ちがいやまがた)
入山形(いりやまがた)

花山形
丸
薄の丸
丸ニ万字
万字
角立万字

右万字
左万字
万字菱
万字木瓜
万字轡
鉞井筒

ロ
丸ニ違鉞（まるちがひまさかり）
ロ
四ツ鉞（まさかり）
イ
六ツ鉞車（まさかりくるま）
イ
六ツ鉞（まさかり）
ロ
丸ニ並鉞（まるならびまさかり）
ロ
組違枡（くみちがひます）

ロ 三ツ組桝
ロ 入子桝
ロ 丸に桝
ロ 蔓掛桝
ロ 丸に蔓掛桝
ロ 櫛松

ロ
三蓋松
イ
二ツ松
ロ
松菱
ハ
五ツ松葉
ロ
松葉菱
ロ
七十二

ロ
若松車
ロ
丸ニ三蓋松
ハ
松葉桔梗
ロ
銀杏蔓守
ロ
祇園守
ロ
筒守

㋺ 銀杏守（いてうまもり）
㋺ 二守（ふたつまもり）
㋺ 向守（むかひまもり）
㋺ 蔓守（つるまもり）
㋺ 角守（かくまもり）
㋺ 藤菱（ふぢびし）

イ
三ツ藤
イ
上り藤
ロ
下り藤
ロ
蔓藤
イ
藤巴
藤枝

イ
三ツ藤丸
ロ
八ツ藤
イ
一ツ藤巴
イ
三ツ割藤
ロ
両下藤
ロ
四ツ藤巴

イ 大久保藤
イ 二ツ花藤
イ 三ツ藤
イ 三ツ割分銅
ハ 五ツ分銅
ロ 子持分銅

ロ
分銅
ロ
丸ニ分銅
ロ
四ツ分銅
イ
三ツ分銅
玉章
平角

ロ 糸菱
イ 糸車
ロ 浮線綾
ロ 背浮線綾
イ 三ツ琴柱
ロ 違ひ琴柱

ロ 琴ぢ
ハ 五ツ琴ぢ
イ 三ツ琴ぢ
ロ 琴ぢ蝶
イ 五徳
ロ 横五徳

イ 鉄線
ロ 八つ鉄線
ハ 五つ蔓鉄線
イ 捩鉄線
イ 重鉄線
イ 行用鉄線

イ 長囲鉄線
イ 八重鉄線
イ 三ツ鉄線
イ 茶鉄線
ロ 胡蝶
イ 三ツ蝶々

(ロ) 揚羽の蝶
(ロ) 丸に揚羽の蝶
向浮線綾
(ロ) 向蝶
(イ) 三ッ蝶々
(ロ) 浮線蝶

(イ) 蝶車
(ロ) 鐶蝶
(ハ) 甲蝶
(ニ) 蝶菱
(ホ) 蝶花形
(ヘ) 三ツ飛蝶

(イ)三ッ盛揚羽蝶
(ロ)扇蝶
(ロ)結蝶
(イ)向揚羽の蝶
(ロ)蔓鎧蝶
(ロ)揚羽の蝶丸

(イ) 吉田蝶 よしだてふ (ロ)
(イ) 大吉田蝶 おほよしだてふ
(ロ) 扇揚羽の蝶 あふぎあげはてふ
(イ) 扇浮線蝶 あふぎふせんてふ
(ロ) 立葵 たちあふひ
(イ) 三ツ割蔓葵 みつわりつるあふひ

二葉葵
ロ 三ツ割蔓葵
ロ 山崎葵
イ 細三ツ葵
ロ 丸ニ立葵
ロ 菱の内ニ立葵

イ 葵車
ハ 裏花葵
ロ 二葉葵
ロ 入違葵
イ 重三ツ葉葵
ロ 丸ニ一ツ葵

(イ)三ツ蔓葵
(ハ)五ツ葵
(ロ)四ツ葵
(イ)三ツ割葵
(ロ)麻の花
(イ)麻の葉

イ 三ツ割麻葉
イ 麻の葉車
ロ 扇菱
ロ 四ツ扇丸
イ 丸に三ツ扇
ハ 追掛五ツ扇

ロ
並扇菱
イ
扇車
ロ
違扇菱
イ
丸ニ三ツ扇
ロ
花扇
イ
与市扇

ハ
三ッ扇
ロ
三本並扇
ロ
並扇
イ
檜扇丸
ロ
檜扇
イ
丸に三ッ組扇

ロ 地紙
ロ 違扇
ロ 重地紙
ロ 重扇
ロ 違开扇
イ 外違丸

(イ)
三ツ組地紙
(ロ)
丸ニ一ツ扇
(ロ)
扇井筒
(ロ)
(ロ)
丸ニ違扇
(ロ)
五ツ扇

ロ
日の丸扇
ロ
丸ニ並扇
ロ
舞扇
イ
三ツ扇丸陰
イ
三ツ地紙丸
ロ
丸ニ一ツ地紙

ロ 淺野扇
イ 高崎扇
ロ 嶋京扇
ロ 秋田扇
イ 三つ巻廣丸
ロ 扇車

八
八重桜
八
桜
八
墨桜
八
下葉桜
八
香桜
八
山桜

ハ
裏桜
ハ
角桜
ハ
組合桜
ロ
一輪桜

ロ 浮線桜
イ 三ッ割桜
ハ 環桜
ハ 蔓桜
ロ 千重桜
ハ 江戸桜

ロ 若紫桜
ハ 結桜
ハ 桜井桜
イ 真の行用桜
ロ 桜輪違
ロ 雪持笹

イ 丸に笹の丸
イ 竹輪の門に九枚笹
イ 笹の丸
イ 三ツ九枚笹
ロ 向笹丸
ロ 根笹

ハ
篠笹束
ロ
竹笹の丸
イ
笹の丸
イ
龜甲
ロ
三枚笹の丸
ロ
仙臺笹

ロ
宇和島笹
イ
吉田笹
イ
萊浮笹
ロ
杵築笹
ロ
鳥居笹
イ
山口笹
サ

伊呂波引紋帳
八十八
イ 上杉笹
ロ 丸に向笹
イ 池田笹
ロ 岩付笹
イ 菊之丸

イ
行用菊
ロ
乱菊
ロ
草ゝ菊
ロ
丸ニ菊
ロ
四ツ菊

三ツ葉菊
ロ
菊菱
イ
三ツ割菊
ロ
菊
ロ
ろくよう菊
ロ
菊浮線綾

ロ
袋菊
ロ
丸ニ花菊
ロ
枝菊
イ
横向菊ノ丸
ロ
志ノ菊菱
ロ
捨菊

ロ
青山菊
ロ
抱菊の葉
ロ
裏菊
イ
菊車
ロ
光淋菊
菊水

ロ 禿菊
イ 御用割菊
ロ ちよの菊
ロ 琴柱桐

ロ
五七ノ桐
ロ
五三ノ桐
ロ
桐浮線綾
ロ
五三大割桐
ロ
草鷺桐
イ
三ツ割頭合桐

(イ) 三ツ頭合桐
(イ) 三ツ尻合桐
(ロ) 割桐菱
(ロ) 割唐桐
(ロ) 又七浮線綾桐
(ロ) 追掛割桐

五三ノ桐
中陰の桐
五三鬼桐
光淋ノ桐
金環桐
蔓桐

(イ)三ツ割桐
(ロ)割桐
(イ)光琳唐桐
(イ)葵桐
(イ)唐桐
(イ)三ツ盛桐

イ
桐車
ロ
桐
ロ
三鷺桐
ロ
桐菱
ハ
菱桐
ハ
桔梗

ハ 組合桔梗
ハ 捻桔梗
イ 行用桔梗
ハ 結桔梗
ハ 龍膽桔梗
イ 三ツ盛桔梗

ロ
向桔梗
ハ
釜敷桔梗
ハ
細桔梗
ハ
晴明桔梗
ハ
桔梗車
ハ
吹貫桔梗

ハ
八重桔梗
イ
三ツ裏桔梗
ハ
桔梗陰
ハ
細陰桔梗
ハ
糸輪に八重桔梗
イ
三ツ割桔梗

イ 影三つ裏桔梗
ハ こくもち桔梗
ハ 土岐桔梗
ハ 豊田桔梗
イ 子持亀甲小字
イ 増山亀甲

イ
亀甲
イ
三ツ組の紀亀甲
イ
三ツ組亀甲
ロ
割亀甲
イ
丸ニ三ツ盛亀甲
イ
三ツ盛亀甲

イ
三ツ入子亀甲
イ
三ツ亀甲
イ
三ツ割亀甲
イ
ロ
柳川杏葉
ロ
小城杏葉

ロ 佐賀行用
ロ 鍋島行用
ロ 花行用
イ 三ツ茗荷
ロ 花茗荷
ロ 違茗荷

イ 三ツ茗荷丸
イ 茗荷巴
イ 三ツ开茗荷
ロ 田村茗荷
ロ 抱茗荷
ロ 立花茗荷
二十七

ロ 棕櫚
ロ 抱棕櫚
イ 三ツ棕櫚
丸ニ蛇目
イ 丸ニ三ツ割蛇目
イ 細蛇目

蛇目
イ
三ツ盛蛇目
イ
蛇目七ツ星
ロ
丸ニ十文字
子
丑

寅（とら）
辰（たつ）
午（むま）
卯（う）
巳（み）
未（ひつじ）

申
酉
戌
亥
ロ
海老丸
ロ
遠海老

立烏帽子
侍烏帽子
イ
剱三ツ柊
ロ
入違柊
イ
三ツ割柊
ロ
並柊

ロ 丸ニ抱柊
ロ 抱柊
イ 追掛ニツ柊
ロ 違柊
ロ 折入菱
ロ 四ツ割菱

ロ
菱輪違
ロ
重違菱
ロ
三ツ重菱
ロ
一ツ菱
ロ
菱陰
ロ
幸菱

重松皮菱
松皮菱陰
瀧口菱
米組菱
丸ニ四ツ割菱
四ツ菱崩

(イ)三ツ寄菱
(イ)三ツ小笠原菱
(イ)小笠原菱亀甲
(イ)三ツ寄松枝菱
(ハ)三ツ松枝菱
(ロ)五ツ菱

(イ)三ッ反菱
(ロ)松枝菱
(イ)三階菱
(ハ)中陽菱
(ロ)丸ニ二ッ引
(ロ)岩城立引

ロ 丸に立三ツ引
ニ ヒ及二ツ引
ロ 丸に離三ツ引
ロ 浅野三ツ引
ホ ヒ及三ツ引
ロ 丸に一ツ引

ロ
丸ニ三ツ葉紅葉
ロ
抱紅葉
イ
三ツ紅葉
イ
三ツ紅葉
ロ
葵紅葉
イ
三ツ割紅葉

イ 行用紅葉
ロ 割紅葉
ロ 玉木瓜
ロ 堀田木瓜
ロ 庵木瓜
ロ 板倉木瓜

口
木瓜
口
丸に木瓜
口
こくわち木瓜
口
丸に四方木瓜
口
輪違木瓜
口
巴木瓜

ロ 環木瓜
ロ 唐環木瓜
イ 崩木瓜
イ 三ツ組木瓜
ロ 木瓜菱
ロ 雛木瓜

石竹に丸
折枝石竹
ハ
石竹
イ
三ツ割石竹
ロ
永楽銭
ロ
壹文錢
永樂通寶

イ 丸に洲濱
イ こくもち洲濱
ロ 洲濱木かう
イ 洲濱
ロ 割洲濱
ハ 花洲濱

ロ
一本杉
すぎ
イ
三ツ杉丸
すぎのまる
ロ
杉菱
すぎびし
ロ
二本杉
すぎ
ロ
三本杉
すぎ
ロ
丸ニ一本杉
まる
すぎ

以呂波五體名頭之字

上段ハ草真篆隷

下段ハ角字也

伊　猪　磯　幾　市

岩 岩 犬 犬 六 六 半 半 八 八 伴 伴

仁 仁 平 平 辨 辨 藤 藤 友 友 富 富

豐 豐 德 德 虎 虒 治 治 長 長 忠 忠

重 重 利 利 理 理 力 力 良 良 龍 龍

林 林 音 音 和 和 嘉 嘉 幸 幸 勘 勘

龜
龜
覺
覺
勝
勝
與
與
由
由
多
多

大
大
泰
泰
辰
辰
民
民
竹
竹
高
高

為
爲
令
令
總
總
宗
宗
鶴
鶴
恒
恒

常 常 猶 猶 来 來 梅 楳 宇 宇 丑 丑

九 九
𢎗 九
國 國
國 國
熊 熊
熊 熊
条 条
条 条
弥 彌
彌 彌
安 安
安 安

萬	萬	又	又	松	松	增	增	孫	孫	政	政
萬	萬	又	又	松	松	增	增	孫	孫	政	政

源 源 啓 啓 武 武 文 文 福 福 小 小

五	五	此	此	權	權	駒	駒	貞	貞	傳	傳
五	五	此	此	權	權	駒	駒	貞	貞	傳	傳

五	此	權	駒	貞	傳

淺 淺 佐 佐 作 作 定 定 三 三 喜 喜

義 義

義 義

金 金

金 金

久 久

久 久

菊 菊

菊 菊

吉 吉

吉 吉

勇 勇

勈 勇

巳	己	四	四	七	士	十	十	次	次	順	順

甚 甚 正 正 莊 莊 新 新 周 周 繁 繁

丈 丈 榮 榮 遠 遠 要 要 秀 秀 兵 兵

彦 彦 百 百 茂 茂 元 元 門 門 杢 杢

專專
專專
千千
千千
清清
清清
善善
善善
捨捨
捨捨
助助
助助

源氏五拾四帖之圖
桐壺
帚木
空蟬
夕顔

若紫
末摘花
紅葉賀
花之宴
葵

榊
花散里
須广
明石
澪漂

蓬生
関屋
絵合
松風
薄雲

朝顔
乙女
玉葛
初音
胡蝶

螢
常夏
篝火
野分
御幸

蘭
巻柱
梅枝
藤裏葉
若菜

若菜下
柏木
横笛
鈴虫
夕霧

御法
幻
匂宮
紅梅
竹川

橋姫
椎本
総角
早蕨
宿木

東屋
浮舟
蜻蛉
手習
夢浮橋

地紋割（ぢもんわり）

割方色々あれどいと便利なる法を考新撰して左へ著す事左の如し

立涌（たてわく）

下地ハ十文字を引て墨之内のもやう小よつて雲立涌菊立涌なぞと云ふ

蜀江（しよくこう）

下地ハ五だん罫を引その上へ大刻を書きべし内の摸様ハ何までもよし

麻葉
下地ハ三角形の小割を並び
しの如く割付其上へ同し
形の大割をし物小割を出之
三重襷
下地ハ二重菱の大割をして
其内へ又小割をするなり
菱一ツに九筋引べし
七宝菱
下地ハ横びしを引其筋を又
たてと横と二ツに割てひく
べし

檜垣（ひがき）
下地ハ法手の立ひしにても
つくるべし
萬字崩（まんじくづし）
下地ハつ目のよこびしを
引て此のごとくあて法
なをすべし
松川菱（まつかわびし）
下地ハ法ニひらめるニてひ
しにてするべしひしよ
つを松川つまみと心得べし

亀甲（きつかう）
下地ハつるぎ三角を引てよるべし但し三重亀甲もぶんまはしをうけ内の六角残るべし
𦁾形（あくがた）
下地ハ十もん字の罫を引てよるべし
毘沙門亀甲（びしやもんきつかう）
下地ハ前の亀甲よりの如くなれど三角を引てよるべし

青海波（せいがいは）
下地ハ横菱を以て大割になし
ぶん廻しにて波を出す
べし
籠形（かごがた）
下地ハ三角形の立菱に引二筋
になしそれを又六角と成ゆりして
横筋を引て出すべし
萬字繋（まんじつなぎ）
りんずびしともいふ
下地ハ五もん罫を角にとりよし
て山の如き物を以てつなぎ
出すべし

繋十字（つなぎじうぢ） 下地ハ五だん罫を引歩を出どくしてつなぐ也

分銅菱（ふんどうびし） 下地ハ二重の様じしを引二重の内外をう筋りのうちまして割べし

輪違菱卯（わちがいきらゑ） 下地ハ角のすぐわさしを引わすじへ分廻しを立て、わちがひを出べし

くあくくづし
角繝崩
下地ハ二寸のごばん罫を引て二寸の肩を網糸と等る心にて出すへし
うんびし
雲菱
うろこがた
鱗形
うろこつなぎ

業平菱
なりひらびし
下地ハ平目ニ横竪を引うて
ひしの割を置て上ニの
せ出すべし
武田菱
たけだびし
前ニ同じ
釘抜つなぎ
くぎぬき
下地ハ平目ニ而だん罫を
引四つ一と合之内へ見合せ
出すべし

紋割方の傳

上の合印ハ前の紋の図て引合せて割よふと知るべし

㋑ 合印 二ッ割 六ッ割 十二割の図

右コより之ハ見せしぶんとしを其をすゝ上下ゟ・ふ多て双方輪のふちへ墨をつけ其墨より又すぢを引バ自然と割まうすり

㋺ 合印 二ッ割 四ッ割 八ッ割 十六割の図

右のごとく分ハ毎(まい)せしうへすハしるしを少し
ひろげイハの○ニ立てロニの志るしを
つけ扨(さて)ホのすぢを引次(つぎ)ニ其(その)、ぶんと
しとおしせどめイハの○ニ立てへ
トの印をつけましてチヌの○に立て
リルの印をつけ扨ヲワのすぢを引バ
ハツになりと分く余(よ)ハ准(じゅん)じて知るべし

⑧ 合印

五ツ割
十ヲ割
の図

右のごとく十ヲ割ニなり八一寸の丸ヲ
丸ミ分(ぶ)でのぶんまハしにてそれぶ
はかりとして代(しろ)ミコミなべし五ツ割ハ
一寸の丸ヲ丸ふ々凡ぶんまハしにて

をこふつまりあり但しおこ割の紋も十八割まで出バ正しく割るべく

㊁合印
七ッ割
十四割
の図

右まりるゝ二寸此丸にて七ッ割ハ凡四分二厘六毛十四割ハ凡二分一厘三毛づゝの分也まてそこふ花あり花て大小に相応ふ割試むべし

㋭合印
九ッ割
十八割
の図

右のりくし前にあらはし△の形を見合せんため先六ツにのり又その間を二ツつゝに割る法なりこれが面まへし出して六ツのりは角ごくふて双方のふちへ墨をつけ扨その墨より墨へ筋を引なり仍て六ツ割を二ツになるなり一寸の丸にしてん一分六厘づゝの法なりを以て考へ割るべし

ひしの割

まづそとのりをまはし減上下ふかくおのくそとのりの八分一を減じてひしのかどとするなり

すみきりかくの割

すみの角も此割かさと同じなり此ぶんまはしをひろくするほどかどふかく成とこゝろべし

ひしもくかふの割
すべてひしの中の四ツ割ハ四すミに分出しを為て大てい其中と思ふほどにひろげた所を付るの為より為へまはすべし
じやのめの割
中の丸ハまはりの丸の三分をもつて定法とすべし
かさねくぎぬきの割
出せし分出てしまちくる中に上下まて七分一づゝちゞめて分出しを左右ホよせまちがひなきつ里てうるべし
三割そるびしの割
まるそとをまはし六ツ割にして内のすみ見かどより三うくをはなして為へまはるべし

きりのとうの割　たちあふひの割　むかひいてうの割　ぎをんまもりの割

そとも此上下にて
歩しるさ八ツ割
を立て出べし
如此紋の類ハ裏
面の出て表面ハ
扨てうつすべし

丸の四方の○ふ
分出しを立て
おのく中どふりく
出して図るなり
これも一方を出
一方ハうつすべし

上下の○に分出し
を立て真中の
つり合を定むべし
むかひ紋ど此紋
のたぐひハさて
よことも此分ゟ
うつすべし

八ツを分ぐと
あぐひたそのゝを
四ツ目の類
こゝも此割りくゝと
準じ八ツ割を
以て出べし

ふおどもへの割

丸を六ツ割にしてかくのごとく格好をよく定め一ツさを出てぶんくわねりてうつすべし

丸に二ツ引の割

そと丸をとり中すぢあまりをわけして七ツわりをのぞくするべし

丸に三ツ引の割

右はおなじくそと丸のうちへ九ツわりを入をするべし紋ふとさハ五ツわりを丸のうちをせばくするべし

たちばなの割

丸を六ツ割にて実の大小あり名とよくかんがへそのめんをそ𛂦面はうつすべし

一ツともへの割
二ツともへの割
三ツともへの割
孫ぢうらむめの割

渦の割
界
界
楕圓の割
上
左
右
下
界
界
角字の割

大小相應地割の傳

凡役所にかぎらず繪圖にても
文字にても何にても大小相應に
うつしとるにハ此地割の法あり
其時ハ此法を用ゆべし大形を小
形にするも小形を大形にするも
格好少しも違ハず出來る也

たとへハ此字の大さ一寸
の文字なりこれを二
尺の大字にうつすに
ハ先一寸の角を
幾箇にかとも碁の目に割付て其
目数の通りを又二尺の方へ割付置
さて小形の文
字の格好を大
の方へ其まゝに
うつすべし即
上のごとし

又扇子に出るものを角に直さ
これハ先扇子廿四間あらバ角の
方へ廿四の竪罫を引て猶あふぎ廿
枚の罫割を幾箇と定めて其余
通りに角の方へ横罫をのせて出べし

横罫あり

但し何ほどにも一
間でうつし絵る
べし地紙なれバ
一枚一面の罫割
を用ゆべし

角を長くするも扇を角にするも
此法を用ひて自由に出来るなり
半紙へ直に罫の引るものハ玻璃板か
硝子紙に罫を引て上へ載べし
其上へ半紙をのして出とも大なる
ものハ格好知りかたきゆへまづ小
形に出てよく格好をとゝのへさて
此法を用ひて大なるを出べし

TANAKA, K.

H A Stanhope.

July/03.